

乗雲

寺報
第76号

H21.9.1 発行

編集人

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL0254-43-2419
FAX0254-43-4560
広蔵寺
住職 神田英俊

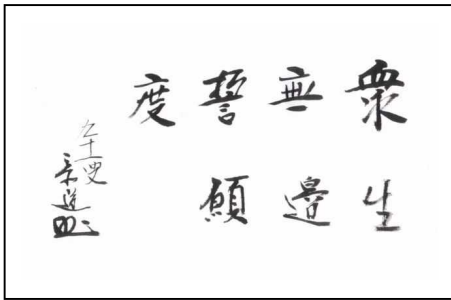
メール
otera@kogonji.jp

衆生無辺誓願度

松原泰道老師が世寿一〇一歳で亡くなられた。(七月二十九日午前十一時二十八分肺炎にて、臨済宗妙心寺派、京都の龍源寺前住職)老師は百歳を過ぎてても講演、執筆をこなし、著書は百三十冊に及んでいる。

平成十年に十七教区主催の仏教講演会(会場広蔵寺)に講師としてお出でいただき、その折に絡子に揮毫いただいたのが「衆生無辺誓願度」でした。これは、四つの誓願第一番で、次には「煩惱無尽誓願断」「法門無量誓願学」「仏道無上誓願成」とあります。「四弘誓願文・しぐせいがんもん」と言い、私たちが日頃心がけなければならぬ四つの願いです。勤行聖典、梅花流詠讚歌教典にもあり、日々お唱えしております。老師はこの誓願文を誰にでも分かり易く、一、身近な人に奉仕(布施)しよう。

二、足もとのゴミを一つ拾おう。
三、一日に、一つ教えを学ぼう。
四、永遠の路を、一歩一歩、ゆっくり歩もう。と翻訳しています。
衆生は無辺なれど(数限りない人々)、煩惱は無尽なれど(尽きることの無い煩惱)、法門は無量なれど(奥深い仏の教え)、仏道は無上



平成10年10月3日 於広蔵寺
仏教講演会にて揮毫

なれど(この上ないお悟り)、これを必ず成しとげんことを誓って生きているのが仏教徒の生き方です。
八月二十四日の新潟日報朝刊「窓」欄に、新発田市の女子中学

生の素晴らしい投稿が掲載されていました。『私には、自分だけのルールがあります。それは、人としての最低限のことを守る』ということですが、まず「目」、「口」をポイ捨てしない、「二つ目」、「自分」がされて嫌なことを人にしない、中略...捨てられたゴミで汚れた用水路を見て感じ取り、嫌なことをされた相手の心の痛みを理解し思いやりの心を持って生きていけたらと...思いを書いていきます。これが「誓願」です。

松原老師は中学時代に西洋のことわざ、『一人では何もできない。一人が始めなければ何もできない』、『よいことは一人ではなかなかできない。だれかがしてくれたら一緒にしよう、と待っていたら、いつまでたっても何一つできない。それよりも自分から進んでする最初の一人になること。その勇気がなかったら結局何もできない』の言葉に感銘し、これが仏教に通じる「菩薩の誓願」であると感じ、誰にでも心に備わっている「仏心」に目覚めよと、臨終間際まで精魂込めて布教活動に務められました。四つの誓願の実践で仏心を育てましょう。

広蔵寺寄席ご案内

第5回三遊亭鳳楽独演会

期日 平成二十一年

十月四日(日曜)

時間

午後五時開演

(午後四時半開場)

会費 千円 発売中!

定員 二百名

*第5回目となる「三遊亭鳳楽独演会」今年から時間を一時間早めて「午後5時開演」です。

いままでの演目

第1回 「こんにやく問答」

「しりもち」

第2回 「味噌蔵」「文七元結」

第3回 「子ほめ」「禁酒番屋」

「ねずみ穴」

第4回 「目薬」「真田小僧」

「八五郎出世」

三遊亭円楽師匠の総領弟子、鳳楽師匠の本格落語をぜひお楽しみください。